



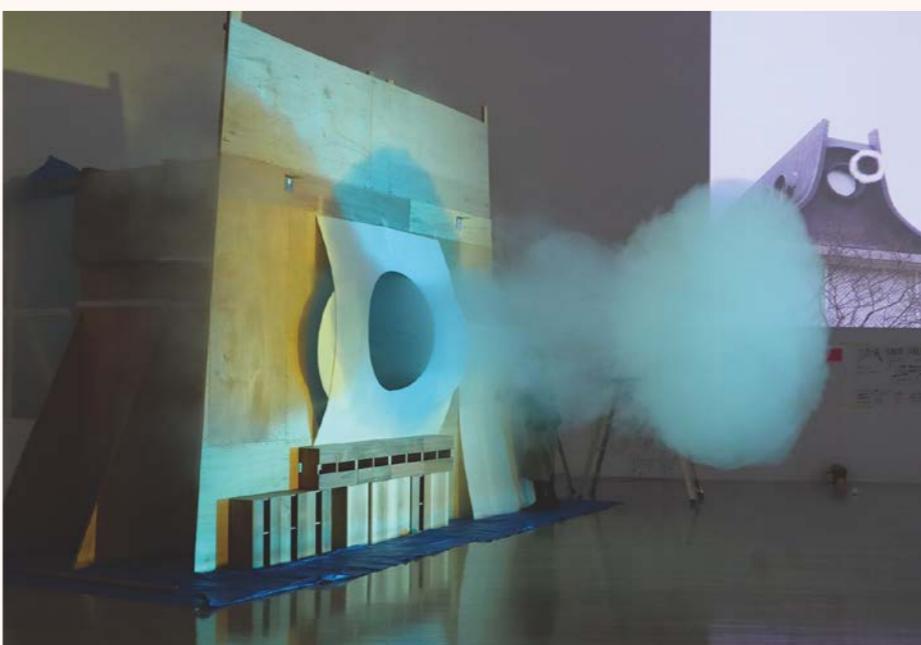
Akita City
Cultural Creation Center

Annual Report

2021

秋田市文化創造館
Annual Report 2021









はじめる
つくる、
出会う、

生きるために必要なことは何なのでしょうか？

戦後75年は豊かさが求められてきた時代でした。伝統文化の価値が見直され、美術館・ホール等、近代文化のための施設がつくられ、商品・ファッション・漫画・アニメなど多彩な大衆文化が流通し、ICT社会の浸透はゲーム・SNS・VR等のデジタル文化を加速させてきました。しかし、今はなぜこんなにも生きることが困難な社会なのでしょう。

阪神淡路大震災の1995年頃から文化・芸術は「豊かさのための」ものではなく、「生き延びるための」知恵であり技術であると語られはじめました。それから四半世紀が経ち、気象変動、環境汚染、コロナ禍など困難さは激化し、日常化しつつあります。

生活様式や価値観の変容が迫られる中、生き延びるために、しなやかな感性・寛容な視線・対話する技術・溢れる発想力などが求められています。地域社会の多くの人に、組織に、それらの力が必要です。 些細な試みと、失敗の積み重ねと、信頼できるつながりと、それをまちに充填する拠点として秋田市文化創造館はあります。一緒につくってゆきましょう。

藤 浩志（秋田市文化創造館 館長、美術家）

六 つ の 基 本 方 針

空間の提供

すべての人に
開かれた環境をつくる

魅力的な建築空間を活かして、休憩の場として、創造の場として、様々な用途に活用できる環境をつくります。

創造支援事業

日常に息づく創造力を
発揮する活動を支援する

利用者やクリエイターのアイデアの実現や発表、情報発信を文化創造館のコーディネーターがサポートします。

地域連携

創造力を秋田の
まちにひろげる

近隣の歴史・文化施設、商業施設や施設外のエリア、他分野の事業とも連携します。アイデアや企画を地域に開くことで新たな価値を生み出し、未来の文化を創造する力を秋田のまち全体にひろげます。

機会の提供

創造力を養う出会いの
機会をつくる

背景や価値観の異なる人が集まり、ともに創り、交流し、学び合うことで、新たな知識や視点に出会いの場をつくります。

創造実験事業

創造力を刺激する
実験的事業をおこなう

多様な分野の専門家を招いたイベントや、クリエイターと協働した実験的なプロジェクトなどにより、市民の創造力を刺激します。

情報発信・アーカイブ

活動の過程と成果を
発信しアーカイブする

ウェブサイトや刊行物などを通じて文化創造館の活動を記録・発信します。また、全国各地で文化創造を試みる人たちと情報共有し、よりよい施設運営に活かしていきます。

未来の生活を考えるスクール

「未来の生活を考えるスクール」は、「新しい知識・視点に出会い、今よりちょっと先の生活について考える」というゆるやかな枠のもと展開するシリーズ。背景や価値観の異なる人が交流し、創造力を養う出会いの機会となることを目指しています。ゲストは、自身の専門性と文化・芸術の領域を横断して活動する人を中心に招聘。2021年度は全6回開催し、レクチャーやトークをただ聞くだけではなく、ゲスト・参加者間の対話プログラムやワークショップを各回に取り入れました。

第1回／第2回 | ちがうまま集まり、つくること 映画「記憶との対話～マイノリマジョリテ・トラベル、10年目の検証～」の上映＋トーク／上映＋対話

第1回では、全国各地で行っている上映会の様子や上映を通して生まれた議論について、また、様々な背景を持つ人たちと共に「つくること」についてトークセッションを行いました。第2回では映画を見た後に少人数で対話する場を設けました。

登壇 | 横山智子（作曲家、マイノリマジョリテ・トラベル・クロニクル実行委員会代表）ほんまなほ（フィロソファ、大阪大学教授、ガムラン奏者）岩井成昭（美術家／第1回のみ）



第1回トーク風景

第3回 | 「ホーム」を捉えなおす

秋田県内で実践されている「居場所」づくりとその課題、また創作の場でのケアについて、ゲスト二人のこれまでの実践例の紹介とクロストークを行いました。

登壇 | 坂下美渉（NPO法人あきた結いネット理事長）
西原珉（セラピスト、キュレーター、「トナリ」代表）



第4回トーク風景

第4回 | 俺の家、路上なんだけど遊びに来なよ

住居・広告看板・喫煙・清掃員などをモチーフにした作品紹介とともに、公共空間でのルールや自分たちの立ち居振る舞いについて考えるテーブルトークを行いました。

登壇 | 村上慧（アーティスト）

第5回 | 自分のためにつくること

何かを表現するときにノイズにもなる「誰かからの評価」を一旦忘れて、まずは自分の好きなものごとについてじっくり考えてみるためのレクチャーとZINE作りワークショップを行いました。

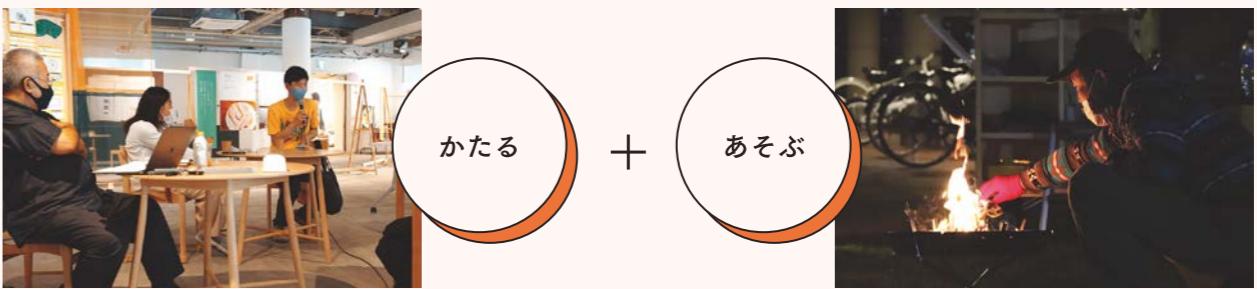
登壇 | はらだ有彩（テキストレーター）
野中モモ（ライター、翻訳者）

第6回 | カルチャカイvol.12「かたる」×未来の生活を考えるスクール 振り返り＆公開企画会議

最終回は「カルチャカイ」と「未来の生活を考えるスクール」の合同開催。参加者の皆さんと今年の「スクール」の内容を振り返りながら、次年度の公開企画会議を行いました。

カルチャカイ

カルチャカイは、「かたる」「あそぶ」と2つから成るゆるやかなコミュニケーションプログラム。「かたる」は、「使われていない実家の活用方法を考え中」「自由に使えるDIY工房を作ってみたい」など、その時集まつた人のやってみたいことや悩んでいることを肴に話が展開されていきました。「あそぶ」では、文化創造館のスタッフが発案者となり、シャボン玉や焚き火、クリスマスのオーナメントづくりなど空間や季節を遊びながら楽しむ企画に参加者が体験することで「自分が文化創造館やまちなかでやってみたいこと」のイメージを広げる機会となりました。



情報発信・アーカイブ

文化創造館で行われるさまざまな事業の告知や、秋田に暮らす人々の魅力的な活動の紹介などを通して、新たな活動のはじまりを応援する発信を試みました。また、実施した事業を記録し残すことも活動の一環として取り組んでいます。

(1) 紙媒体での発信

- 情報紙「そうする？」発行（半期に一度）
事業のレポートや秋田の多様なクリエイターを紹介する連載などを交えた情報紙。
- イベントカレンダー発行（毎月）



「そうする？」1号（部分）

(2) ウェブサイト、SNS

- インタビューなどの連載記事やレポートを発信
「秋田の人々」「あこがれの人」「秋田市文化創造館パートナー」など。
- かえるくんのどうする!?ラジオ
不定期で館長の藤浩志がゲストを迎えてお話をするラジオ的プログラム。映像とテキストで配信中。
- SNSによる情報発信



Twitter



Instagram



Facebook



YouTube



第2回ゲスト：[左] 海法圭（建築家／株式会社海法圭建築設計事務所）と藤浩志

クリエイター・イン・レジデンス「.oO」

滞在作家：CHIKA, MIWO, & MORE

秋田県内外から招聘された専門家やクリエイターが文化創造館に滞在し、創造力を刺激する実験的なテーマに取り組む「クリエイター・イン・レジデンス」。2021年度は、文化創造館開館プレ事業企画公募「SPACE LABO 2020」にて、グランプリを受賞した現代美術家の松田朕佳とファシリテーターの雨宮澪によるユニットCHIKA,MIWO,&MOREが滞在し、文化創造館の丸窓から煙の輪っかを浮かべるプロジェクト「.oO」を実施しました。

作家名のCHIKA,MIWO,&MOREにある“& MORE”とは、CHIKA, MIWO以外にこのプロジェクトに関わる出来事や人々を指します。会期中には参加者を巻き込みながら、巨大空気砲の制作や発射実験、20年後の未来を見据える対話型ワークショップの実施を通して、普段意識しない時間と空間のスケールで物事を捉え、試行錯誤するプロジェクトとなりました。



滞在作家コメント

松田 朕佳

Some people travel through life making friends wherever they go, while others- Just travel through life.

行く先々で友達をつくりながら人生を旅する人々もいれば、ただ人生を通り過ぎていく人もいる。
バスター・キートン「Go West」より

CHIKA, MIWO, & MOREは前者であった。
出会った一人一人に感謝と愛を。



雨宮 澪

そこは、ギャラリーでなく、美術館でもなく。
そこにあるのは、人間の営みとその愛おしさ。自然環境と、見えない世界の存在に包まれて。

いつか、限界（と思っていたもの）を、軽やかに、飛び越えていくことができる。
ノラネコを捕まえてみたり、ピアニカとノコギリと箱ビスの歌を耳元に囁いたり、占いで自分をみてみたり、ドーナツの穴から覗いてみたり、巨大空気砲で12時の時を打ったり。
いつか、「.oO」が、そこに出ている。

これを可能にしてくれたすべての存在に、今一度の、心からの感謝と、愛を。
私たちはまだ、旅の途上にいる。



CHIKA, MIWO, & MORE 「耳のないマウス」(2015年結成)のメンバー、松田朕佳と雨宮澪によるユニット。

松田 朕佳 | 現代美術家。2010年アリゾナ大学大学院Fine Arts修了。
国内外のレジデンスを経て現在長野県在住。おもに立体造形を制作。

雨宮 澪 | ファシリテーター、プロセス＆コミュニケーションデザイナー。
個人と組織の変容プロセスの伴走者。千葉県在住。

レポート記事▶

公募事業「SPACE LABO 2021」



審査員 | 川勝 真一(建築リサーチャー・RAD)/ユカリロ
編集部(高橋 希・三谷 葵)/藤 浩志

クリエイティブな視点で土地にふれ、「まちなか活動プラン」を考える「SPACE LABO 2021」。多数の応募の中より選出した5名のクリエイターが、秋田市内での滞在・リサーチを踏まえてそれぞれに活動プランを提案します。

リアルな滞在を踏まえた気づきや交流を通じて活動プランを提案するプロセスが本事業の特徴。文化創造館のコーディネーターがクリエイターに伴走しプラン作成をサポートします。秋田の新しいまちの使い方の提案や創造力を刺激する実験的な活動が期待できるかという基準を踏まえて審査し、2022年度に実施するプランを決定します。



秋田市文化創造館パートナー事業

文化創造館および秋田市中心市街地を活動の拠点とする市民のユニークな活動を公募し、その実現に向けて様々な支援を行う「秋田市文化創造館パートナー事業」。文化創造館が開館した2021年3月21日に公開プレゼンテーション(最終審査会)を行い、7団体を「秋田市文化創造館パートナー」に認定。コーディネーターと共に1年間活動しました。パートナー団体の顔ぶれは、学生、主婦、会社員など様々。その活動も子どもの遊びをテーマにしたイベントや舞台公演、盆踊り大会まで多岐に渡りました。また、団体同士のコラボレーションやそれぞれの活動を通じたつながりも数多く生まれました。団体の問題意識や「やりたいこと」実現のため、アイデアを出し合いながら様々なチャレンジを重ねることで、当初の目標を超える大きな成果となりました。2022年1月30日に実施した最終報告会ではその成果を内外に共有し、面白い活動を生み出していくという思いを新たにしました。



事業年間スケジュール



秋田市文化創造館 パートナーの活動 2021



しゅわしゅわ
酒泡酒泡クラブ



ストピリエゾン



秋田県内各地に設置されているストリートピアノを活用したイベントの開催や、ストリートピアノにまつわる映像の制作・YouTubeでの発信を通して、ピアノや音楽を通じた人の繋がり、そしてピアノのある町の魅力を発信する活動を行いました。潟上市・北秋田市そして文化創造館で開催したストリートピアノイベントでは、地域の店舗やマルシェイベントとのコラボレーションを積極的に行い、これまでストリートピアノに触れたことのなかった人たちへの波及効果が生まれていました。



アンリミテッドカラー



MAP
Mobile
Alternasu
Project



「語らいながらまちを歩く」ことを軸に活動するMAP(Mobile Alternasu Project)は、まちで見聞きしたもの、発見したものを既存のカテゴリーに当てはめず他者へ伝えることに挑戦しました。文化創造館から徒歩10分の場所にある通町商店街を対象エリアとして、お手製の屋台を引きながら、まち歩きやインタビューを重ね、まちの歴史はもちろん、自分たちがまち歩きを通して想像したことでも事細かにアーカイブしていました。試行錯誤の末、読み手が物語の主人公となり通町商店街の中を探索しているかのような体験ができるゲームブック「トオリマチ奇譚」を完成させました。



全日本積穂俳画協会
秋田教室



俳画を様々な世代に親しんでもらうため、日本の伝統文化である俳画の世界を踏襲しつつ精力的に活動しました。新しい展示方法の検討と周知のための「俳画ミニ展示」を皮切りに、イベント「届けよう！心あたたまる絵を」では親子向けワークショップやチラシ作りにチャレンジ。大胆に創造館の空間を使用し体験コーナーも設けた「第37回 俳画作品展」には500人以上の方が訪問されました。



あそびのはじまり
実行委員会



五感を刺激し、探求心や好奇心の芽を伸ばす「あそび」と、地元秋田の企業やクラフトマン、アーティスト、デザイナーなどを講師に迎えたワークショップを開催し、知る・考える・作り出すことを通して創造性を育む体験イベント「あそびのはじまり2021」を開催。約500人の親子連れが参加し、文化創造館のコミュニティスペースや屋外広場が、子どもたちの歡声のあふれる遊びの広場になる1日となりました。



土方巽記念秋田舞踏会



オリジナル舞踏劇「イザベラバード」の久保田紀行の制作・上演を行いました。コロナ禍の影響を大きく受けながらも、9月の千秋公園特設舞台(アジアトライAKITA千秋芸術祭)、10月は赤れんが郷土館(羽州街道まつり)、そして12月に文化創造館スタジオA1と、3回の異なる会場での上演を実現しました。また、文化創造館での上演に合わせ、写真展「舞踏のある街」を同時開催(11月28日～12月6日)。スタジオAの空間を活かした上演・展示により、これまで舞踏に触れる機会の少なかった人々にもその魅力を紹介しました。

※QRコードから各団体のインタビューをご覧いただけます。

秋田市文化創造館の多様な活用事例

文化創造館は、多様な文化活動との出会いの場を提供すると共に、自ら創作活動を行う方、新たな活動をはじめようとする方々を応援します。旧秋田県立美術館を改修した3階建ての建物と新設されたデッキや芝生などでは、各種イベントや創作活動の場として様々な用途にご利用いただけます。

※専有利用の際は申請が必要です。有料。

2F・3F スタジオ A



2階 スタジオA1

旧秋田県立美術館だった当時、藤田嗣治作の「秋田の行事」が展示されていた館を象徴する大空間。



2階 スタジオA2

A1の奥に位置する個室。シンクや集塵ファンが設置されています。



3階 スタジオA3

回廊空間となっており、2階と連続した空間を作ることや、区切って暗室としての活用も可能です。



天までとどけ！こいのぼりプロジェクト



こどもアートLab 第3回「みあげて ごらんそこにはいるよ」



秋田市文化創造館パートナー事業:最終報告会



若者と地域をつなぐプロジェクト事業最終報告会



「200年をたがやす」草彅裕展示風景

1F コミュニティースペース



自然光が差し込む開放的な空間。気軽に立ち寄り、自由に過ごすことができます。キッチンもあり、料理教室などの開催も可能。



博覧強記・油谷満夫の木の岐展



こどもアートLab 第4回「冬に土と植物に出会う」



お堀端の古本市



100⁴ Material Lab.

2F スタジオ B



窓が無く、暗室にして利用できます。壁面を自由に造作することができ、多様な展示・演出が可能です。



秋田公立美術大学大学院 複合芸術研究科修了研究展 2022



AKIBI複合芸術ピクニック 秋田／沖縄 冬編 (実践編)

デッキ・屋外エリア



屋外の芝生エリアや建物を囲むデッキでピクニックなど自由に楽しむことができます。



こどもアートLab 第4回「冬に土と植物に出会う」

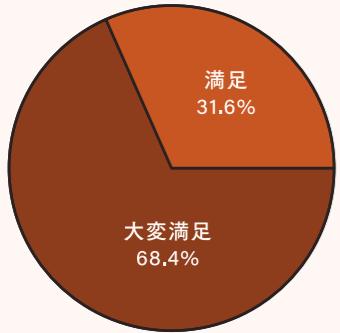


フィドル演奏

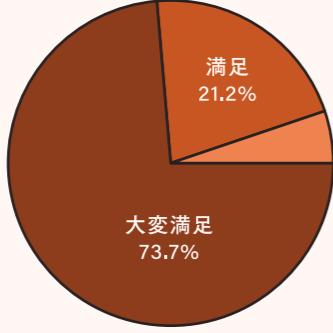
秋田市文化創造館 利用者アンケート

文化創造館の空間は完全に仕切られている空間が少なかったり、従来の貸館展示場にあるピクチャーレールがあり無かったり、初めて利用される方は戸惑うことが多いです。そのため、単なる貸館ではなく、イベントごとにコーディネーターが伴走し、館を存分に利用する方法を一緒に模索したり、同日に開催するイベントの主催者同士をつないだり、新たな試みに挑戦するなどの支援を日々行っています。利用者アンケートのご意見も参考にしながら、運営の改善を図っています。

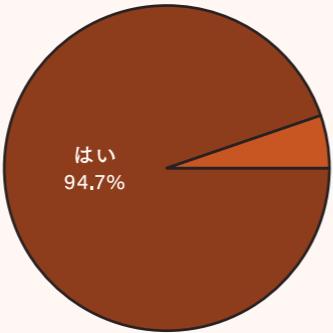
Q1. 施設や設備、機材の使い勝手や状態はいかがでしたか？



Q2. スタッフの当日の対応はいかがでしたか？



Q3. また文化創造館を利用したいと思いますか？



- 大変満足
- 満足
- やや不満足
- 不満足

(19件の回答)

- はい
- いいえ
- わからない

利用者コメント



櫻井 莉菜
(秋田公立美術大学 大学院生)

どう面白く使うか試されるようなユニークな場所で、これまでにやったことのないようなプロジェクトに挑戦することができました。

利用事業

移動図書プロジェクト
「book shelter」
アーティストトーク
ゲスト：小田原のどか

秋田公立美術大学院 多媒体芸術研究科
修士課程1年 複合芸術実習成果展

利用事業

移動図書プロジェクト「book shelter」



にしかわ しょう子
(創作家)

別団体が主催する音楽イベントと同時開催でしたが、結果相互にお祭りの様な雰囲気となり、お客さんや参加者の方にも大変好評でした。

利用事業

としのせ☆フリーマルシェ



長谷部 光哉
(アーセプトグループ代表)

建物内装のモダンな間仕切りのないフリー空間に即決！相談を重ね丁寧な対応で希望レイアウトが完成。素敵アート展になりました。

利用事業

Patio Arcept Vol.1
2021



荒谷 はるか
(合同会社HOMARE)

館内の家具や什器に木が使われており、温もりある空間が子どもたちの体験イベントにマッチしていました。屋外でサッカー選手体験をできたことで子どもたちは思う存分楽しめました。

利用事業

JA共済presents「KIDSおしごとランド」

知ろう・学ぼう・作ろう！
秋田の伝統工芸



カフェ・ショップ センシューテラス

運営:(株)スパイラルエー

カフェ | デッキを通じて外とつながる開放的な雰囲気のテイクアウト専用カフェ。館内の丸窓をイメージした焼きおからドーナツや焼き菓子もおすすめ。館内各所の休憩スペースで飲食可能です。

ショップ | 国内外から集めたちょっといい日用品、暮らしを彩る花々、若手クリエイターの作品などを6台のディスプレイワゴンで販売します。



ディスプレイワゴン担当

m's collectables	生活雑貨
greenpiece	加工花
うろ	生活雑貨、手工芸品

BOOKNERD	本
NEED THE PLACE	食品
ユカリロ編集部	クリエイターの作品

「デザイン・クリエイティブセンター神戸」との協定

2021年9月、秋田市文化創造館は、兵庫県神戸市のデザイン・クリエイティブセンター神戸（愛称：KIITO）と、デザイン及び文化芸術等の新しい価値の創造に関わる分野の交流・協力のための協定を締結しました。協定の締結を通じて2館が連携し、未来に向けて新しい価値の創造を担う人材の育成促進のための交流事業、デザイン及び文化芸術等の価値に対する理解促進のための連携事業等を進め、デザインや文化芸術がもつ創造性を活かした両都市の活性化を共に目指します。



左:永田 宏和(KIITOセンター長) 右:藤 浩志



KIITO外観



初回オンラインミーティングの様子

秋田市文化創造プロジェクト 200年をたがやす / CULTIVATING SUCCESSIVE WISDOMS

生活と表現が交わる広場としての展覧会

文化創造館では、開館から半年間、秋田市が行う文化創造プロジェクトのスタートアップ企画として、また、文化創造館のオープニング特別事業として、展覧会「200年をたがやす / CULTIVATING SUCCESSIVE WISDOMS」を開催。会期は、過程を公開しながら市民とともに制作する「つくる」と、その成果を広く公開する「みせる」で構成され、食・工芸・生活・産業・美術・舞台の5分野において、地域の文化をたがやす活動を未来へ継承することを目指しました。会場内では作品を鑑賞するだけでなく、来場者が自由に過ごせるリビングスペースやブランコなどの遊具が設置され、多様な人々の営みと表現が交錯する「広場」のような空間となりました。

食

個人が持つ味とその思い出を広くシェアすることで未来に食文化をつないでいくことを目指し、「あとの人のレシピをつなぐ」をテーマとして収集したレシピを、様々な形で公開。



工芸

あきたの伝統的工芸品に焦点を当て、製造過程や素材、技術などを応募いただいたエピソードとともに紹介。また、あきたに暮らす皆さんの家庭に眠る工芸品を募集・展示し、未来的な使い手を探す。



生活

あきたのこれまでの200年を振り返り、これから200年を展望する「あきた400ねんリサーチセンター」のリサーチ成果を発表するとともに、作家・内田聖良による「水山これくしょん」、「余白書店」を展開。



美術

「記述し伝える運動」を主題に、アーティスト等表現の専門家に加え、あきたに暮らす様々な生活者とともに築いてきた8つのプロジェクトを発表。
出展作家・プロジェクト：「生活と表現の広場」、ココラボアーカイブプロジェクト「ココラブ」、村山留里子・皆川嘉左エ門・荒木優光、佐藤研吾、草彅裕、「プロジェクトの研究会」



舞台

あきたの民俗芸能や昔話についてのリサーチ、あきたに関わる方々から集めた言葉をもとに演劇公演「soda city funk」(作・演出：児玉絵梨奈)を、あきたに暮らす方々を出演者に迎え、上演。



展覧会「200年をたがやす」会期：オープンスタジオ期間「つくる」2021年3月21日(日)～6月18日(金) 展示期間「みせる」2021年7月1日(木)～9月26日(日) 会場：秋田市文化創造館ほか 主催：秋田市 企画・制作：NPO法人アーツセンターあきた 協力：ココラボラトリーココラボ アーカイブプロジェクト「ココラブ」 全体監修：服部 浩之(インディベンティンキュレーター)/秋田公立美術大学特任准教授・東京藝術大学大学院准教授 キュレーター：のんびり合同会社(矢吹 史子)/合同会社 casane tsumugu(田宮 憲)/NPO法人アーツセンターあきた(尾花 賢一、島 崇、藤本 悠里子) 空間設計(建築)：海法 圭(建築家／株式会社海法圭建築設計事務所) デザイン：[グラフィック]佐々木 俊(株式会社AYOND)/[ウェブ] 谷戸 正樹(MYDO LLC) プロジェクトマネジメント：鈴木 一絃



Project



スタジオA1の展示風景



「soda city funk」公演本番



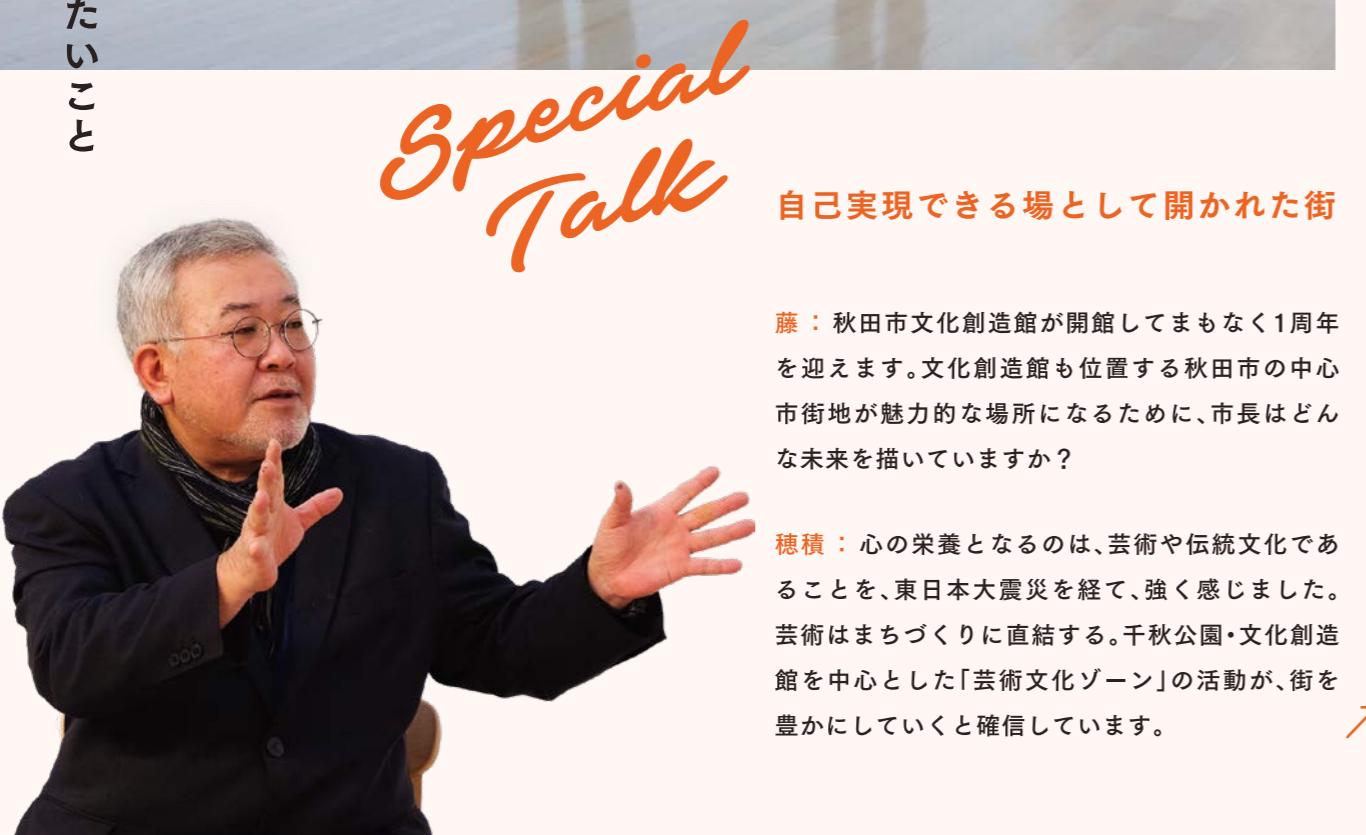
みそづくりワークショップ



大館曲げわっぱ制作ワークショップ



サポートスタッフによる案内所



Special Talk 自己実現できる場として開かれた街

藤：秋田市文化創造館が開館してまもなく1周年を迎えます。文化創造館も位置する秋田市の中心市街地が魅力的な場所になるために、市長はどんな未来を描いていますか？

穂積：心の栄養となるのは、芸術や伝統文化であることを、東日本大震災を経て、強く感じました。芸術はまちづくりに直結する。千秋公園・文化創造館を中心とした「芸術文化ゾーン」の活動が、街を豊かしていくと確信しています。

秋田市文化創造館 館長
藤 浩志

秋田市長
穂積 志



Special Talk 自己実現できる場として開かれた街

9月には「ミルハス」もグランドオープンし、さらに中心市街地の交流が増えることが期待されます。芸術文化の香りがするエリアであることに惹かれて、秋田駅前に居を構える人も増えてきました。

藤：コロナ禍において、いろいろなものの構造が変化し、「どう幸せに生きるのか」という悩みを抱える人も多い。その思いを受け入れる場として、秋田市がどうあるのかという課題もあります。

穂積：若者に魅力のある街であることは大きなテーマです。そのためには「自己実現できる場」をつくっていくことが重要だと思っています。何かやってみる。失敗してもその経験を生かしながらさらに先に進んでいくことで、地域への誇りや愛が育っていく。芸術にはその切り口があると思うので、大切にしていきたいですね。

藤：私もふくめ、県外からなぜ秋田市に移動してきたかというと、やりたいことを実現できるかもしれない場所として、秋田市が開いていたからだと思います。文化創造館も、新しいことをやりたい人たちのためにできることを、考えていきたいと思っています。

穂積：私たちも、自分で何か挑戦しようと努力している人の思いを大切にしたいと思っています。活動するとおもしろいし、満足感もある。今後的人生にも生かされていくはずです。

交わり、刺激し合い、つくる場

藤：今日は何も展示がない空間での対談になりました。

穂積：これだけ素晴らしいスペースがあると、何かしたいと思いますね。この建物を残したことで平野と藤田の物語など、様々な思いを受け継ぐことができたことは本当に良かったと思います。

藤：劇場や美術館は、通常、展示や公演を行っていない時は閉館しますが、文化創造館は開いています。自分でもつくりたくなるような感性を刺激される場があることが重要だと思うのです。

できたものを味わうことも大切ですが、いろいろな「創造の種」をもった人が、交わりながら、新しく強いものが生まれてくる場所を目指したい。

穂積：異質なものが集まり、ぶつかり合うことで新しいものが生まれ、それが地域に波及して街の活性化につながっていく。文化創造館がそうした場になることを期待しています。

藤：大学の研究と、市民や市の課題とを結ぶ役割も担っていきたいと思っています。文化芸術に限らず、教育・医療・福祉の現場ともつながりながら、雇用の創出もふくめ、新しい価値をつくっていくことが、秋田の未来につながっていく……。市長と話していると大きな理想を語ってしまいます。

穂積：良いことですよ。夢や希望を大きく持たないと、前に進めないですからね。

藤：私たち大人が、夢を持ってつくっているという姿を見せることも大切ですよね。

(対談日:2022年1月31日)



特別寄稿

未来の「公共性」を耕す秋田市文化創造館

大澤 寅雄

秋田市が施行した「秋田市文化創造館条例」の第1条に、このように書かれている。

「本市の文化力および市民の創造力を生かして新たな価値を生み出し未来に向けた文化を創造する活動（以下「文化創造活動」という。）の拠点として、市民一人ひとりが創造力を育み、発揮する機会を提供し、もって市民協働による文化創造のまちの実現を図るため、秋田市文化創造館（以下「創造館」という。）を秋田市千秋明徳町3番16号に設置する。」

地方自治体が設置した公立の文化施設では、こうした設置条例が定められており、日本各地、津々浦々に整備されている。だが、文化創造館には他の公立の文化施設には見られないユニークな特徴がある。文化施設と言えば、美術館、博物館、ホール、劇場といったタイプが思い浮かぶが、文化創造館には舞台も客席も楽屋も、常設の展示室も収蔵庫もなく、どの文化施設のタイプにもあてはめにくい。

また、市民が利用できる空間はあるけれども、市民会館や公民館のような公共施設とは使い勝手が違っている。堅い壁と扉で区切られた空間を占有するのではなく、フリースペースをゆるやかに「共有」する。おそらく、従来の公共施設に慣れている利用者は、最初は戸惑うことになるだろう。

文化創造館での事業もユニークだ。オープニング事業の展覧会「200年をたがやす」では、食、工芸、生活・産業、美術、舞台という5つの分野を横断した、展示、映像、トーク、滞在制作、ワークショップ、アーカイブなどの雑多な表現の数々。過去と現在と未来が交錯し、混沌とした場。だが、そこには「秋田」という土地にしっかりと根差した「文化創造活動」が、市民と専門家との協働によって表現されていた。

従来の公共施設にはない特徴を数多く有する文化

創造館だが、ここで立ち止まって「公共」とは何かを考えたい。政治学者の齋藤純一は、「公共性」をofficial、common、openという3つの意味に分けている。法や政策などに基づき（official）、人々の共通の利益や関心を追求し（common）、どのような人の利用も拒まない（open）。この3つの性格が、あまねく「公共」施設に備わっているかといえば、疑問のある施設も実は少なくない。

すべての公立施設（敢えて公共施設とは区別する）には設置条例がある。その点では、基本的にはofficialな存在だ。しかし、単なる貸し出し施設では、設置条例の目的に沿った人々の共通の利益や関心を追求できるだろうか。また、固定的な利用者が既得権益化し、暗黙のうちに利用が拒まれている人はいないだろうか。

文化創造館を見ると、officialという点では冒頭のとおり市の条例があるうえに、運営管理計画があり、文化振興ビジョンがあり、指定管理者の指定の手続きを踏まえて管理している。commonやopenという点ではどうだろうか。条例の「市民一人ひとりが創造力を育み、発揮する機会を提供し、もって市民協働による文化創造のまちの実現を図るために」という目的に沿いながら、人々の共通の利益や関心ごとを引き出すことができているのか。また、いかなる人も利用でき、参加できる場を提供できているのか。その視点で文化創造館を継続的に検証することが、公共施設として必要だ。

こうした「公共性」を、文字通り「耕す」ことが文化創造館の挑戦となる。「200年をたがやす」と標榜した展覧会で2021年に開館した文化創造館。100年先、200年先の「市民協働による文化創造のまち」を目指して、秋田の大地に鍬を入れたばかりだ。



2021年8月23日、文化創造館職員研修会の講師として大澤寅雄さんをお招きし、

- ・「公共」ってなんだろう？
- ・みんなで考える公共文化施設
- ・秋田市文化創造館の課題と目標

をテーマに、秋田市文化創造館とは公共文化施設としてどういう「場」でありたいかについて、スタッフ全員で語り合いました。

Special
Contribution

ちょっと考えてみよう

「公立ホール」と
「公共ホール」は
何が違うのか？

大澤さんの発表スライドデータより



大澤 寅雄（おおさわ とらお）

ニッセイ基礎研究所 芸術文化プロジェクト室／文化生態観察
(株)ニッセイ基礎研究所芸術文化プロジェクト室主任研究員、NPO法人アートNPOリンク理事長、日本文化政策学会理事、九州大学社会包摂デザイン・イニシアチブのアドバイザー。共著＝「これからのアートマネジメント“ソーシャル・シェア”への道」「文化からの復興 市民と震災といわきアリオスと」「文化政策の現在3 文化政策の展望」「ソーシャルアートラボ 地域と社会をひらく」。

文化創造館 指定管理事業 全イベントリスト (2021年3月21日~2022年3月実施)

- 秋田市文化創造館主催事業
- パ 秋田市文化創造館パートナー事業

200 展覧会「200年をたがやす」関連事業。200の後の文字は各分野「食」「工芸」「生活産業」「美術」「舞台」を意味します。(2022年3月10日時点のイベントです)

開催日時・期間	記号	イベントタイトル	主催者	会場
3/21(日) - 6/18(金) [前期] 7/1(木) - 9/26(日) [後期]	200	展覧会「200年をたがやす/CULTIVATING SUCCESSIVE WISDOMS」		館内各所
3/21(日)	●	オープニング・イベント「秋田市文化創造館のはじまる日。」 ①展覧会「200年をたがやす」トークイベント (出演:服部 浩之、海法 圭、矢吹 孝子、田宮 健、尾花 賢一、藤本 悠里子、島 崇、鈴木 一絵) ②みんなで踊ろう「あきたすか！」 ③みんなの企画公開プレゼンテーション「つくるがはじまる」④館内ツアー		館内各所
3/22(月) - 31(水)	●	フリー・オーブン・ティ		館内各所
3/22(月)、4/5(月)、19(月)、5/3(月)、17(月)、24(月)、31(月)、6/14(月)、28(月)、7/12(月)、26(月)、8/16(月)、9/6(月)	200美	「ココラブ」ミーティング		コミュニティスペース
3/24(水)	●	カルチャカイvol.3		コミュニティスペース
3/27(土)	200工	トーク「伝統的工芸品をたがやす」第1回 半径2キロの漆器の町“川連 KAWATSURU” (ゲスト:佐藤 康太、佐藤 史幸 聞き手:田宮 健)	秋田市	コミュニティスペース (オンライン配信)
3/28(日)、4/24(土)、25(日)	200舞	あなたと言葉を集めるワークショップ (講師:兎玉 絵梨奈)	秋田市	スタジオB
3/31(水)	●	サウンドチェック・コンサート		館内各所
4/7(水)、14(水)、21(水)、28(水)	●	音の日		スタジオA1
4/8(木)、5/22(土)、6/2(水)、4/5(金)、16(水)	●パ	ミーティング(全日本篆文積穂俳画協会秋田教室)		館内各所
4/8(木)、5/9(日)、17(月)	●パ	ミーティング(MAP)		館内各所
4/9(金)、19(月)、5/17(月)	●パ	ミーティング(アソリミッテッドカラー)		館内各所
4/10(土)	200美	「プロジェクトの研究会」プロジェクト説明会 (研究統括:藤 浩志)	秋田市	コミュニティスペース
4/10(土)、19(月)、5/13(木)	●パ	ミーティング(ストピリエゾン)		館内各所
4/11(日)	200工	トーク「伝統的工芸品をたがやす」第2回 シン・粧細工の道(ゲスト:八柳 浩太郎 聞き手:田宮 健)	秋田市	コミュニティスペース (オンライン配信)
4/11(日)、5/27(木)	●パ	ミーティング(NPO法人土方翼記念秋田舞踏会)		館内各所
4/11(日)、5/9(日)、20(木)、27(木)、6/5(土)、12(土)、8/4(水)	●パ	ミーティング(酒泡酒泡クラブ)		館内各所
4/11(日)、5/26(水)、6/2(水)、5(土)、16(水)、25(金)、7/2(金)	●パ	ミーティング(あそびのはじまり実行委員会)		館内各所
4/15(木)、22(木)、5/24(木)、7/8(木)、22(木)、29(木)、8/5(木)、12(木)、26(木)、9/9(木)、16(木)、23(木)、木祝)、10/7(木)、14(木)、21(木)、11/25(木)、12/9(木)、16(木)、23(木)、1/6(木)、27(木)、2/24(木)、3/10(木)、17(木)	●	積読本読書会		コミュニティスペース
4/16(金)		mekke 「relax Night Yoga」	合同会社RURBAN	スタジオB
4/21(水)		音に遊ぶ音と遊ぶ 即興のダンス	松本 奈緒	スタジオA2
4/23(金) - 25(日)	200美	「生活と表現の広場」高橋 香澄 活動紹介展	秋田市	スタジオA3
4/25(日)	200	パブリック・リニューアル・ラボ・トークシリーズ 第1回「公共建築の作り方と使い方」(ゲスト:西澤 徹夫)	秋田市	スタジオA1 (オンライン配信)
5/2(日) - 5(水・祝)	●	ソウザカウンLab旧県美お誕生日スペシャル☆ ②天までとどけ！こいのぼりプロジェクト		スタジオA1
5/2(日) - 5(水・祝)	●パ	文化創造館パートナー事業 2021年度企画紹介展示		コミュニティスペース
5/2(日) - 5(水・祝)	●パ	全日本篆文積穂俳画協会秋田教室 ミニ展示	全日本篆文積穂俳画協会秋田教室	コミュニティスペース
5/2(日)	200美	「生活と表現の広場」レクチャー＆ディスカッション 「土から考える農と食の思想、そして表現」(ゲスト:山内 明美、菊地 真生、石倉 敏明)	秋田市	
5/3(月・祝)	200美	「生活と表現の広場」家族が語る農民彫刻家嘉左エ門(ゲスト:皆川 誠子、皆川 嘉博)	秋田市	
5/4(火・祝)	●	0円ショッピング		デッキ
5/5(水・祝)	●	音の日		スタジオA1 コミュニティスペース
5/10(月) - 13(木)	200美	荒木優光 滞在制作	秋田市	スタジオA2など
5/13(木) - 31(月)	●	秋田市文化創造館 プレ事業展示		コミュニティスペース
5/15(土)		こどもアートLab「NEOびじゅつじゅんびしつ」説明会	秋田公立美術大学	コミュニティスペース (オンライン配信)
5/19(水) - 28(金)※土日除く	200美	「生活と表現の広場」吉瀬 翔 滞在制作	秋田市	スタジオA2など
5/22(土)、6/19(土)、7/24(土)、8/21(土)	200美	プロジェクトの研究会	秋田市	コミュニティスペース
5/23(日)	200工	トーク「伝統的工芸品をたがやす」第3回 大館曲げわっぱから学ぶ工芸の価値と未来 (ゲスト:柴田 昌正 聞き手:田宮 健)	秋田市	コミュニティスペース (オンライン配信)
5/28(金)、6/5(土)、7/3(土)	●パ	アソリミッテッドカラー インタビュー映像収録		コミュニティスペース
5/29(土)	●	カルチャカイ Vol.5「かたる」		コミュニティスペース
5/29(土)、30(日)	200美	佐藤研吾 滞在制作	秋田市	スタジオA1、A2
5/30(日)	200美	「生活と表現の広場」レクチャー＆ディスカッション 「記録と表現について」(ゲスト:小松 和彦、米山 茂未)	秋田市	スタジオA3
5/31(月) - 9/26(日)	200生	ワークショップ「わが家の重要な文化財」	秋田市	コミュニティスペース
6月9日(水) - 13日(日)	200美	「生活と表現の広場」永沢 碧衣 滞在制作	秋田市	スタジオA1
6/12(土)	200美	「生活と表現の広場」トークイベント「山×マタギ×私を語る」 (ゲスト:益田 光、山田 健太郎、永沢 碧衣)	秋田市	スタジオA1
6/12(土)、13(日)、18(金)、23(水)、25(金)、30(水)、7/2(金)、7(水)、9(金)、14(水)、16(金)、24(土)、25(日)、28(水)、30(金)、8/1(木)、6(金)、7(土)、8(日)、9(月)、11(水)、12(木)、13(金)、28(土)	200舞	演劇公演「soda city funk」公開稽古	秋田市	スタジオB
6/13(日) - 17(日)	200美	荒木優光 滞在制作	秋田市	スタジオA2ほか
6/14(月)		フリーコーヒーミーティング	TRAVESSIA	コミュニティスペース

開催日時・期間	記号	イベントタイトル	主催者	会場
6/17(木)	200工	トーク「伝統的工芸品をたがやす」第4回 もっとも近くもっとも遠い？！ 「秋田杉桶樽」学 研究・発酵・編 (ゲスト:島 健男、柳谷 直治 聞き手:田宮 健)	秋田市	コミュニティスペース (オンライン配信)
6/19(土)		仲小路つなぐチームミーティング		おもしれど・かだればあ
6/20(日)	●パ	インタビュー(ストリエゾン)		コミュニティスペース
6/21(月)	●	「あの人のレシピをつなぐ」持ち寄り会		コミュニティスペース
6/21(月)		フリーコーヒーミーティング	TRAVESSIA	コミュニティスペース
6/23(水)		堀を語る会 会議		堀を語る会
6/25(金)、26(土)	200美	佐藤 研吾 滞在制作	秋田市	コミュニティスペース
6/26(土)		きり絵展示会		菅原 健一
6/26(土)	200美	プロジェクトの研究会 ワークショップ「若者の生活向上を考えるワークショップ」 市民研究員:高橋 えいみ	秋田市	コミュニティスペース
6/26(土)		茶道裏千家淡交会 ゲスト:藤 浩志	茶道裏千家淡交会秋田青年部	デッキ
6/28(月)		フリーコーヒーミーティング	TRAVESSIA	コミュニティスペース
7/1(木)、3(土)	200	サポートスタッフ説明会	秋田市	全館
7/1(木)	200	プレス向け見学会	秋田市	全館
7/1(木)	200	「200年をたがやす」を「みせる」リレーツアー	秋田市	全館(オンライン配信)
7/2(金)		公共交通研究会	藤田 信	コミュニティスペース
7/3(土)	200美	プロジェクトの研究会「洗濯物ワークショップ」市民研究員:高橋 誠美、並川 詩織	秋田市	コミュニティスペース
7/5(月)、7/8(木)	200食	「あの人のレシピをつなぐ」ラジオ 第1回、第2回 公開収録 ゲスト:国立館高校調理科の皆さん	秋田市	コミュニティスペース
7/5(月)		フリーコーヒーミーティング	TRAVESSIA	コミュニティスペース
7/10(土)	200美	プロジェクトの研究会 ワークショップ「Alan's Cafe Denmark」 市民研究員:藤島 アラン	秋田市	コミュニティスペース
7/10(土)	●	未来の生活を考えるスクール第1回「ちがうまま集まり、つくること 映画『記憶との対話～マイノリティ・トラベル、10年目の検証～』の上映・トーク」 見て、聞く(ゲスト:樺山 智子、ほんま なほ、岩井 成昭)		にぎわい交流館AU 多目的ホール
7/11(日)	●	未来の生活を考えるスクール第2回「ちがうまま集まり、つくること 映画『記憶との対話～マイノリティ・トラベル、10年目の検証～』の上映・トーク」 見て、話す(ゲスト:樺山 智子、ほんま なほ)		にぎわい交流館AU 研修室6
7/12(月)		フリーコーヒーミーティング	TRAVESSIA	コミュニティスペース
7/15(木)	200食	あの人から教わるレシピ 実演 & トーク「鈴木百合子さんに教わる、味噌づくり」	秋田市	コミュニティスペース
7/17(土)、28(水)、8/20(金)、9/9(木)、10/2(土)	●パ	大忘踏大会練習		酒泡酒泡クラブ
7/18(日)	200工	職人による実演・ワークショップ「つくる」と「なおす」川連漆器 編①(実演・講師:佐藤 史幸)	秋田市	スタジオA1
7/18(日)		紙アコードィオンの製作	佐藤 早苗	コミュニティスペース
7/19(月)		フリーコーヒーミーティング	TRAVESSIA	コミュニティスペース
7/21(水)	200生	「余白書店の氣配ラジオ」公開収録 ゲスト:尾花 賢一 構成:余白書店(石幡 愛、内田 聖良、小林 橘花)		余白書店(石幡 愛、内田 聖良、小林 橘花)
7/22(木)、8/8(日)	200	サポートスタッフ説明会+ワークショップ	秋田市	スタジオA1
7/22(木)		千秋公園お堀の蓮ライトアップ点灯式	(株)アートシステム	屋外エリア
7/23(金)	●	秋田市文化創造館 利用者相談会		コミュニティスペース
7/23(金) - 8/5(木)		吊るし台の展示	佐藤 廣子	コミュニティスペース
7/24(土)、8/25(水)	●パ	大忘踏大会練習		酒泡酒泡クラブ
7/24(土)	200工	職人による実演・ワークショップ「つくる」と「なおす」大館曲げわっぱ編(実演・講師:柴田 昌正)	秋田市	スタジオA1
7/24(土)		オンライン移住者交流会		秋田市 (人口減少・移住定住対策)
7/25(日)、8/1(日)	●パ	「届けよう！心あたたまる絵を」ワークショップ		全日本篆文積穂俳画協会秋田教室
7/25(日)	200工	職人による実演・ワークショップ「つくる」と「なおす」川連漆器 編②(実演・講師:佐藤 史幸)	秋田市	スタジオA1
7/29(木)	●	「かえるくんのどうする!?ラジオ」第2回 公開収録(ゲスト:海法 圭)		コミュニティスペース
7/29(木)、30(金)		文化創造館見学会、昼食会		ルーテル 愛児幼稚園学童
7/31(土)		蓮フェスタ2021		秋田千秋はすの会
7/31(土)		こどもアートLab「NEOびじゅつじゅんびしつ」作戦会議1(Labリーダー:柚木 恵介)		秋田公立美術大学
7/31(土)	200工	職人による実演・ワークショップ「つくる」と「なおす」川連漆器 編③(講師:佐藤 史幸)	秋田市	スタジオA1
7/31(土)	●	カルチャカイVol.6「かたる」		コミュニティスペース
8/5(木)		現地発着ツアー「まちなみとアート～秋田の半世紀を探る～」		駅たびコンシェルジュ秋田
8/5(木)	200生	文化創造館でワクワクドローイング！！		秋田市
8/7(土)		こどもアートLab「NEOびじゅつじゅんびしつ」作戦会議2		秋田公立美術大学
8/7(土)	200工	職人による実演「つくる」と「なおす」秋田杉桶樽 編(実演:佐々木 勝美 解説:島 健男)	秋田市	

開催日時・期間	記号	イベントタイトル	主催者	会場
9/11(土)	200生	ワークショップ:思い出のモノ・処分できないあの逸品を、「バーチャルなアイテム」に変身させよう! (進行:内田 良生)	秋田市	コミュニティスペース
9/11(土)	200	パブリック・リニューアル・ラボ トークシリーズ 第2回「建築が残ることについて」(ゲスト:石山 友美)	秋田市	スタジオA1 (オンライン配信)
9/13(月)	200食	あの人から教わるレシピ 実演&トーク「照井 律さんに教わる、花みそづくり」	秋田市	コミュニティスペース
9/15(水)	200	パブリック・リニューアル・ラボ トークシリーズ 第3回「建築の日常性について」(ゲスト:川勝 真一)	秋田市	オンライン配信
9/18(土)	200美	オンライントーク「ユメのイエとユートピア」(出演:佐藤 研吾、中島 晴矢、青木 杉、服部 浩之)	秋田市	オンライン配信
9/19(日)		お堀端の古本市	AKITA BOOK BOAT	コミュニティスペース
9/20(月祝)	200生	あきた400ねんりサーチセンター:センターちょうッパー 「あつまれ!わが家の重要文化財」ワークショップ	秋田市	コミュニティスペースほか
9/22(水) - 9/27(月)		小物屋かぬのfabric green展	小物屋かぬ	コミュニティスペース
9/23(木祝)	200工	職人による実演・ワークショップ「つくる」と「なおす」構造工編②(実演:佐藤 大 講師:八柳 浩太郎)	秋田市	スタジオA1
9/23(木祝)	200美	ココラブ・ラジオ公開収録03「作り手と場の幸せな関係」(ゲスト:安達 香澄、菅原 繼希子 ホスト:後藤 仁)		
9/25(土)	200美	「プロジェクトの研究会」成果発表会	秋田市	コミュニティスペース
9/25(土)	●	カルチャカイvol.8「かたる」		コミュニティスペース
9/25(土)	200工	職人による実演・ワークショップ「つくる」と「なおす」大館曲げわっぱ編②(実演・講師:柴田 昌正)	秋田市	スタジオA1
9/26(日)	200工	未来の使い手オーディション(司会:進行:マティログ、田宮 慎 / 審査員:佐藤 史幸、武藤 貴臣、田宮 慎)	秋田市	スタジオA1
10/2(土) - 4(月)		Patio Accept Vol.1 2021	アーセプトグループ	コミュニティスペース
10/2(土)、10/3(日)、17(日)、23(土)		大道芸パフォーマンス	大道芸人バスカータンブ	デッキ
10/3(日)		羽州街道歴史まつりにあわせた竿燈披露	秋田市竿燈まつり実行委員会	屋外
10/6(月)		秋田県高文連中央部支所写真展(審査)	秋田県高文連中央部支所	スタジオA
10/8(金) - 11/29(月)	●	クリエイター・イン・レジデンス「o.O」(滞在作家:CHIKA, MIWO, & MORE)		スタジオA1ほか
10/8(金)	●パ	秋田市文化創造館 パートナー事業中間報告会		コミュニティスペース
10/10(日)		KIDSおしごとランド/a.woman マルシェ	合同会社HOMARE/ KITAデザイン (a.womanマルシェ)	館内各所
10/11(月)、29(金)		キャンパスコレクション秋田 練習	キャンパスコレクション秋田	スタジオB
10/11(月)、13(水)		特別番組「热血応援!ブラウブリッツ秋田」撮影	株式会社 サキガケアドバ	スタジオA2
10/15(金) - 22(金)	●パ	全日本積穂俳画協会秋田教室「第37回俳画作品展」	全日本積穂俳画協会秋田教室	コミュニティスペース
10/16(土)		フルート演奏とアンリミテッドカラーによる撮影	フルートアンサンブル 紫陽花	スタジオB
10/18(月)	●	カルチャカイvol.9「あそぶ」~豆名月の夜、焚き火を囲んで~		屋外ほか
10/21(木)、25(月)、27(水)、28(木)		秋田藩や佐竹氏に関する講演会	秋田市立佐竹史料館	スタジオB
10/22(金)		Lazy night YOGA	合同会社RURBAN	スタジオB
10/23(土)		未来の生活を考えるスクール第3回「ホーム」を捉えなおす」(ゲスト:坂下 美渉、西原 埼)	秋田市文化創造館	スタジオB
10/23(土)	●パ	大忘踊大会練習	泡泡泡泡クラブ	秋田市西部市民 サービスセンター
10/24(日)		茶道裏千家淡交会	茶道裏千家淡交会秋田青年部	コミュニティスペース
10/30(土) - 31(日)		誰もが活躍推進フェスタ2021 in松下「秋田市絆のフォトコンテスト」「秋田市女性活躍推進ロールモデル写真展」	秋田市	2Fホール
10/31(日)	●パ	あそびのはじまり2021	あそびのはじまり実行委員会	館内各所
10/31(日)		こどもアートLab「NEOびじゅつじゅんびしつ」	秋田公立美術大学	スタジオA2
11/3(水・祝) - 11/14(日)		あきたアート2021 はだしのこころ	秋田市	コミュニティスペース スタジオB
11/3(水・祝)	●	第1回「SUNDAY DONUTS」「どうやって作る?」(クリエイター・イン・レジデンス「o.O」)		スタジオA1、屋外
11/6(土)		パーソナル屋台	大角 萌寧	デッキ
11/7(日)		こどもアートLab「NEOびじゅつじゅんびしつ」	秋田公立美術大学	スタジオA2
11/7(日)		大道芸パフォーマンス	大道芸人バスカータンブ	デッキ
11/7(日)		島田 雅彦トークイベント	Wall&D	スタジオA1、A3
11/7(日)	●	第2回「SUNDAY DONUTS」「時間を捉えてみる」(クリエイター・イン・レジデンス「o.O」)		コミュニティスペース
11/7(日) - 11/15(日)		ORAeアキタファニチャーディスプレイ販売会2021秋	ORAeアキタファニチャー	コミュニティスペース
11/12(金) - 11/29(月)	●	未来の生活を考えるスクール 映像展示(作家:村上 慧)		コミュニティスペース
11/14(日)	●	第3回「SUNDAY DONUTS」「ノラネコを捕まる」(クリエイター・イン・レジデンス「o.O」)		スタジオA1
11/17(水) - 11/26(金)		100 ⁴ Material Lab.	秋田公立美術大学	コミュニティスペース
11/18(木)、21(日)	●	「SPACE LABO 2021」公募説明会		コミュニティスペース (オンライン配信)
11/18(木) - 11/26(金)		ビジュアルアーツ専攻 3年生課題展「RE:af」	秋田公立美術大学	スタジオB
11/20(土) - 11/23(火・祝)		創立100周年記念写真展	秋田県立中央高等学校	スタジオA3
11/21(日)	●	第4回「SUNDAY DONUTS」「文化創造館を人格化して占う」(クリエイター・イン・レジデンス「o.O」)		スタジオA1
11/23(火・祝)	●	第5回「SUNDAY DONUTS」「もうちょっとです!」(クリエイター・イン・レジデンス「o.O」)		スタジオA1
11/26(金)		RELAX NIGHT YOGA	合同会社RURBUN	スタジオA3
11/27(土)	●	カルチャカイvol.10「かたる」		コミュニティスペース
11/28(日) - 12/6(月)	●パ	土方巽記念秋田舞踏会 公演と写真展「舞踏のある街」	NPO法人土方巽記念秋田舞踏会	スタジオA3
11/28(日)	●	未来の生活を考えるスクール第4回「俺の家、路上なんだけど遊びに来なよ」(ゲスト:村上 慧)		屋外
11/28(日)		あきた芸術劇場「ミルハス」開館 プレイベントダンス＆ミュージックワークショップ ～親子で楽しく音楽にふれあおう!～	あきた芸術劇場開館準備室 /AAS共同事業体	コミュニティスペース
12/2(木)	●パ	大忘踊大会練習会	泡泡泡泡クラブ	スタジオA1
12/3(金)、4(土)		移動図書プロジェクト「book shelter」	秋田公立美術大学	コミュニティスペース
12/4(土)		お堀端の古本市	AKITA BOOK BOAT	コミュニティスペース
12/4(土)	●パ	土方巽記念秋田舞踏会 舞踏劇「イザベラバードの久保田紀行」	NPO法人土方巽記念秋田舞踏会	スタジオA1
12/5(日) - 19(日)		第8回ものづくり専攻研究発表展「湧水地点」	秋田公立美術大学	スタジオB
12/5(日)		奇妙礼太郎 Mini Album「ハミングバード」Release 弹き語り Tour 番外編<秋田公演>	SAIKORO	コミュニティスペース
12/6(月) - 9(木)		人権擁護 パネル展示	秋田人権擁護委員協議会、 秋田地方法務局	コミュニティスペース
12/9(木)、10(金)		あきた全国舞踏祭40回記念 秋田市文化創造館で踊る。 2021 Artist in residenceあきた「DANCE PERFORMANCE & WORKSHOP」	秋田市、秋田県 芸術舞踏協会	スタジオA
12/9(木) - 25(土)	●	カルチャカイ vol.11「あそぶ」クリスマスオーナメントづくり		コミュニティスペース
12/10(金)		クリタ×クリエーター かきねをこえろ	秋田県立栗田支援学校、 秋田公立美術大学附属高等学院	コミュニティスペース
12/11(土)		せば、YOGA! (ヨガフェスタ)	秋田市	スタジオAほか

開催日時・期間	記号	イベントタイトル	主催者	会場
12/11(土) - 12(日)		こどもアートLab 第3回「みあげて ごらん そこにいるよ」(講師:藤 浩志)	秋田公立美術大学	スタジオA1
12/12(日) - 16(木)		博覧強記・油谷 满夫の木の岐(き)のまた展	NPO法人アーツセンターあきた	コミュニティスペース
12/12(日)		ダンス練習	加賀谷 菓	スタジオA1
12/16(木)		デザインシンポジウム「あきたのものづくりとデザイン2021」 地域のいいものほしいもの～繋ぎ手から見たものづくりの魅力～	あきた企業活性化センター	スタジオA1
12/17(金) - 20(月)		朝場 江里の絵画展	朝場 江里	コミュニティスペース
12/17(金)		秋田杉と	つちと	コミュニティスペース
12/18(土)、24(金)		大道芸パフォーマンス	大道芸人バスカータンブ	コミュニティスペース
12/18(土)	●パ	忘年会×盆踊り大会「大忘踊大会」	泡泡泡泡クラブ	スタジオA1
12/19(日)	●パ	「秋田県内各地のストリートピアノを繋ぐリレー・コンサートキャラバン」第2回	ストリーピゾン	コミュニティスペース
12/19(日)		としのせ☆フリーマルシェ	にしかわしょう子	コミュニティスペース
12/20(月)		フリーコーヒーミーティング	TRAESSIA	コミュニティスペース
12/25(土)	●パ	ふるさと秋田「クリスマスフェスタ 2021」	アソリミテッドカラー	スタジオA1
12/25(土)		4大学連携学生アイデア発表会「秋田はなぜだか凄くなる!」	秋田大学、秋田県立大学、 国際教養大学、秋田公立美術大学	コミュニティスペース
1/5(水)		MINNA no MINJA おぞうにの巻	TRAESSIA	コミュニティスペース
1/8(土) - 15(土)		AKIBI複合芸術ピクニック 秋田/沖縄 冬編(実践編)	秋田公立美術大学	スタジオBほか
1/8(土)		知ろう・学ぼう・作ろう!秋田の伝統工芸	合同会社HOMARE	コミュニティスペース
1/8(土)、23(日)		大道芸パフォーマンス	大道芸人バスカータンブ	コミュニティスペース
1/9(日)		OVO新春レコードカッティングイベント	OVO	コミュニティスペース
1/14(金)	●パ	インタビュー映像収録	アソリミテッドカラー	スタジオA1
1/15(土)		こどもアートLab 第4回「冬に土と植物に出会う」(講師:村山 修二郎)	秋田公立美術大学	屋外、コミュニティスペース
1/15(土)		中間報告&ワークショップあなたラボ中間報告会	あきた総研	スタジオA2
1/16(日)	●	未来の生活を考えるスクール第5回「自分のためにつくること」(ゲスト:はらだ有形、野中モモ)		コミュニティスペース
1/16(日)		小田原のどかアーティストストーク	秋田公立美術大学	スタジオB
1/19(水)		バンドメンバーの写真撮影	金持 優生	スタジオA2
1/22(土) - 25(火)	●	SPACE LABO 滞在 ①おおしまたくろう		コミュニティスペース
1/22(土) - 26(水)		大学院複合芸術研究科 修士課程1年「複合芸術実習成果展」	秋田公立美術大学	スタジオB、A2
1/23(日)	●	SPACE LABO 滞在 ①おおしまたくろう 交流会		コミュニティスペース
1/29(土) - 2/3(木)		アーツ & ルーツ専攻3年次授業成果展「one」	秋田公立美術大学	スタジオA3
1/29(土)		第42回市民文化のつどい・第18回郷土秋田を考える文化講演会 「祭事がつなぐ地域とひとと～行事、祭り、民俗芸能等の魅力と継承～」 (ゲスト:樋木 歩美、猪田 明、相場 隆、蓮田 真弓)	秋田市	スタジオA1、A2
1/30(日)	●	秋田市文化創造館パートナー事業:最終報告会(ゲスト:大澤 英美)		スタジオA1
1/31(月)	●	アニュアルレポート秋田市長×藤 浩志 対談		スタジオA1
1/31(月)	●	「かえるくんのどうする!ラジオ」第3回 公開収録(ゲスト:橋本 誠)		コミュニティスペース
2/2(水) - 6(日)	●	SPACE LABO 滞在 ②三木本 欽		コミュニティスペース
2/3(木) - 6(日)	●	SPACE LABO 滞在 ②三木本 欽 トンネル内でヒアリング		千秋トンネル
2/4(金)	●	SPACE LABO 滞在 ②三木本 欽 交流会		コミュニティスペース
2/6(日)	●	未来の生活を考えるスクール第6回「カルチャカイ vol.12 「かたる」×未来の生活を考えるスクール 振り返り & 公開企画会議」		コミュニティスペース
2/9(水) - 11(金)		第50回秋田県工業系高校生徒による建築設計作品コンクール	一般社団法人 日本建築学会 東北支部秋田支所	スタジオB
2/14(月) - 26(土)	●	SPACE LABO 滞在 ③椎木 彩子 言葉をあつめるワークショップ 「		



Akita City
Cultural Creation Center

Annual Report 2021

秋田市文化創造館
アニユアルレポート
2021年度

発行日：2022年3月

発行元：秋田市文化創造館
(指定管理者：NPO法人アーツセンターあきた)

企画・編集：秋田市文化創造館

デザイン：伊藤 靖史 (Creative Peg Works)

写真：草彅 裕、菅野 証、須賀 亮平、高橋 希 (五十音順)
ほか秋田市文化創造館スタッフ

イラスト(28ページ)：シラタマキヨエモドキ

印刷：株式会社グラフィック

協力：荒谷 はるか、大澤 寛雄、櫻井 莉菜
にしかわ しょう子、長谷部 光哉 (五十音順)

秋田市文化創造館
(指定管理者：NPO法人アーツセンターあきた)

〒010-0875 秋田県秋田市千秋明徳町3-16

TEL:018-893-5656 FAX:018-893-5659

e-mail:info@akitacc.jp

<https://akitacc.jp>



文化創造館のスタッフが実際の経験に基づき制作しました。